

咲かせよう、4つの花

- ✿ あいさつの花
- ✿ ことばの花
- ✿ げんきの花
- ✿ やるきの花

学校だより



平成28年12月 7日

北九州市立筒井小学校

校長 門司 明

全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」については、平成28年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。

学力の定義や捉え方は様々であり、一概に論じることはできません。この学力調査もそのときの学力の一部を表しているに過ぎませんが、この結果も客観的な指標の一つであると考えます。本校では調査結果も重視し、今後も効果的な指導や学力向上につながる教育活動が実践できるように努めてまいります。ご家庭でも家庭学習チャレンジハンドブックなどを参考にされ、お子様の学習をご支援いただけましたら幸いです。

1. 教科に関する調査結果の概要

カテゴリー	学力調査の分析（傾向や特徴）
国語A	話すこと・聞くことや読むことがよくできている。ひらがなをローマ字で表す問題で誤りや無回答が多い。
国語B	目的や意図に応じて、分かったことや自分の考えを書くことに課題がある。日頃の授業の中で、自分の考えを端的に表す練習を行うことが必要である。
算数A	計算問題や図形の構成要素の問題では十分に理解できている。数の大小比較や割合の学習で、数直線を利用して、説明する力を養うことが必要である。
算数B	問題の意味を考え、筋道立てて記述していくことに課題がある。資料の中から根拠となる事柄を取り出して分かりやすく説明する力を養うことが必要である。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none">・学校での学習活動において、めあてやまとめをきちんと書くことで、理解が定着していると考えられる。自分の考えはあるが、それを分かりやすく説明することに苦手と感じている児童もいることから、授業中での話し合い活動を十分に行っていく必要がある。・学校から出される課題にきちんと取り組んでいる。今後は、自分で計画を立てて自主学習に取り組めるようにしていくことが大切である。・決まった時刻に寝たり起きたりすること、朝ごはんを食べることなど、基本的な生活習慣については、十分に定着している児童が多い。・自分の夢や目標、人のために行動しようとする意識は高い。・1日の生活時間の中で、テレビやビデオ、携帯やスマホに長時間費やす児童の割合が高い。生活時間の見直しが必要である。

3. 調査結果から明らかになった課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

<ul style="list-style-type: none">・どの学年のどの教科でも、一時間の学習の中に必ず書く活動や話す・聞く活動を取り入れ、学び合い活動を行うことで、子どもの思考力や判断力、表現力を高めるようにする。・全校で、朝の活動（チャレンジタイム）を使って、音読や漢字の読み書き、計算などの基本的な技能が身に付くよう繰り返し練習を行う。・小中連携サポーターを計画的に各学年に配置する。具体的には、学習活動の補助や学習プリントの整備等を行う。

② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none">・1日の生活の中でのテレビやビデオ、携帯やスマホに費やす時間について見直すよう呼びかける。携帯・スマホについては、いじめ防止と関連させ、講演会を開いたり学校だよりで知らせたりして、子どもと共に保護者へも啓発を行っていく。・家庭学習は概ね定着しているため、今後は自主学習により一層取り組むよう具体的な方法を示していく。
